

たくさんのおひとつの家



堀田哲明展

2013年6月22日(土)－9月1日(日)

開館時間：10：00－18：00

休館日：月曜日・火曜日（但し、祝日の場合は開館）

入館料：無料

主催：京都府・みずのき美術館

監修：保坂健二郎（東京国立近代美術館主任研究員）

みずのき美術館



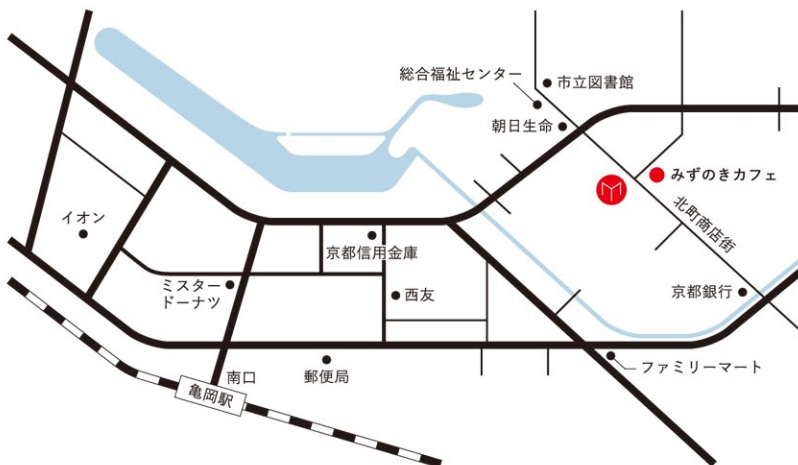
2012年10月に、乾久美子さんによる設計（リノベーション）で亀岡の商店街にオープンしたみずのき美術館。3つ目の展覧会となる今回は、はじめての個展となります。選ばれたのは堀田哲明さん。1949年に生まれた方で、ある時からずっと家を描き続けてきました。基本的に一枚に一軒の家。屋根の大きさ、窓の数はさまざま。塗り分け方も自由で、時々家の向きを変える。その結果、たくさんの家が生まれました。そんな堀田さんの作品を見ていると、「家って、こんなに豊かな表情を持つことができるんだ」「おお、こういう色使いもありえるのか」と驚かされることしばしばです。だから、この展覧会は、色彩の秘密を知りたい人や、豊かな建築をつくりたいと思っている人に、是非見てほしい。そして、展示された何百もの「家」を前にして、なぜ堀田さんがこれほどまでに家を描いたのかについて、ちょっと考えをめぐらしていただければ幸いです。ちなみに今回出品されるのは、すべてみずのきが所蔵する作品ですが、堀田さんの「家」は、アール・ブリュット・コレクションという、スイスはローザンヌにある美術館にも収蔵されています。お見逃しなく。

保坂健二郎

本展監修者、東京国立近代美術館主任研究員

堀田哲明

1949年生まれ。1968年より松花苑みずのきで暮らす。生活の様子が綴られた日誌には、「収穫された玉ねぎを根気よく上手に吊るし終えた」、「葉牡丹の結実を起用にやり終えた」などの記載がある。夜中に姿が見えず探し回ると、屋根の上にいるのを発見された。「お月さんを見てた」と言った、とある。静かでおっとりとした様子であるが、意に添わないことは頑として受け入れず、ごくまれに激しく抵抗したことがあった。約30年の間、書き溜められた「家」は1000点にのぼる。



関連イベント

○ 監修者によるギャラリートーク

日時：7月20日（土）14：00～16：00

定員：40名

料金：無料・申込不要

監修者：保坂健二郎

○ ワークショップ

「堀田さんの家・私の家・私たちのマチ」

画用紙の中の堀田さんの「家」。

大きさは？ 住んでいるのは誰？ ほかの家は？

建築家SPACESPACEさんと一緒に、堀田さんの家、私たちの家が建つマチをつくってみましょう。

日時：7月27日（土）13：00～17：00

会場：みずのきカフェ

講師：SPACESPACE

定員：25名

料金：無料・要申込（申込は、みずのき美術館まで）

みずのき美術館

〒621-0861 京都府亀岡市北町18 [JR嵯峨野(山陰)線亀岡駅南口下車徒歩8分]

TEL 0771-20-1888 FAX 0771-20-1889

www.mizunoki-museum.org

※美術館に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。